



学校通信

夕陽丘

第17号



校長挨拶

新年度の校長の思い

校長 西出 博行



厳寒の中、梅のつぼみも膨らみ、一輪、また一輪と開花し、かすかな芳香を漂わす頃、本格的な入試シーズンの到来となり、やがて悲喜こもごもの卒業式、そして桜花爛漫のもとでの入学式と季節は推移していきます。

今年も夕陽丘の学び舎から275名の卒業生が、3年間の思い出を胸に抱き元気に巣立ちました。その後は一抹の寂しさを感じていましたが、4月には入ってフレッシュな新1年生320名が入学し、学校も再び活気を取り戻したように思います。

新年度の始業式にあたって、私は次のようなことを話し、「努力することの大切さ」を強調しました。「学問や仕事、スポーツ、芸能の世界において、一見、天才と思えるひらめきや発表、プレー、勝って当然と思える強さの裏には、言葉では言い表せない涙ぐましい努力が必ずなされています。あの発明王エジソンさえも『天才とは、1%の靈感と99%の汗(努力)のことである』と言っています。人間の能力は無限であり、それは努力によって開花するものなのです。」と。

また、入学式の式辞で新入生に次の2つのことを要望しました。一つは、「一生の宝となる真の友を見つけること」18世紀のドイツの詩人シラーは、「友情は喜びを2倍にし、悲しみを半分にする」と言っています。共に喜び共に泣き合える無二の親友の存在は、どんなにか心強く励みになることでしょうか。二つ目は、「思いやりの心を持って人と接する」という内容でした。古代中国の孔子の言葉を集めた「論語」の中に、「己の欲せざるところを人にほどこすなかれ」という一節があります。自分が嫌だと思ったことは他人にやってはいけない、という意味です。裏を返せば、自分がやってほしいと思うことを他の人にしてあげなさい、ということになります。孔子の教えを継承した孟子は、これを「惻隱の心」として深化させています。「惻隱の心」を一言で表現すると、「他人への思いやりの心」というのがぴったりではないかと思えます。自分の利害や主張にこだわるのではなく、他者への愛情や優しさ、共感を持って行動することが大変重要になってきます。

以上のような私の思いをしっかりと受け止めて、これからの高校生活において、勉学に、学校行事に、部活動にと青春のエネルギーを精一杯ぶつけてほしいと願っています。保護者の皆様におかれましても、お子様の健やかな成長を願って力強いご支援ご協力をいただきますよう、どうかよろしく願いいたします。

青春！それは生命の躍動

一つひとつの目標への確かなる挑戦

その厳しき挑戦！

それは、君が人生の無限の可能性

発行 〒543-0035 大阪市天王寺区北山町10-10 大阪府立夕陽丘高等学校

TEL 06-6771-0665 FAX 06-6771-6267 E-mail: z-yuhigaoka@sbox.osaka-c.ed.jp

ホームページ <http://www.osaka-c.ed.jp/yuhigaoka> (題字 森 敏行先生)

妥協するな

62期生の君たちもいよいよ最終学年となりました。今までの高校2年間はどうだったでしょう。悔いは残っていませんか？最後の高校生活を思い切り充実したものにして、来年の3月それぞれが納得のいく進路を実現して巣立ってくれることを願います。そのために、自分の夢・希望を再確認しその実現に向けて妥協せず努力してください。

ちょうど2年前、君たちが入学した1年生のこの時期にスプリングキャンプを行い、その後の学年通信でフィギアスケートの浅田真央選手のことを取り上げました。それは、『世界選手権に破れてすぐに次のオリンピック(2010年)に向けて彼女が、オリンピックまであと1000日しかない。早く練習しないと…。もっと練習しないと…。』と言って練習する姿が印象に残る番組のことで、ちょうど君たちもあと1000日くらいで受験を迎えるのと被り、君たちに「あと1000日しかない。早く勉強しないと」といった意識あるかな…。毎日の積み重ねが、大きな成果を生みます。』と書きました。来年浅田選手はどんな結果を出すのでしょうか？(楽しみです)

話は変わりますが、マリナーズのイチロー選手が先日、日本最多安打記録を樹立しました。そのイチロー選手も「1本1本の積み重ね。大きな成果を得るには、小さなことを疎かにせず積み重ねていくのが近道だ」と言っています。

これらのことは、何事にも通じることで、よく判っていることだと思います。しかし、<言うは易し、行うは難し>で、人は弱くてついつい最初の目標にむけて努力するとき、楽な方へと妥協してしまい、易きに流されてしまいがちです。先の2人の選手は、世間では「恵まれた才能を持ち、当たり前のように素晴らしい結果を残し、我々とは違うんだ」と、思われているかもしれませんが、彼らも同じ人間で弱い面も持っています(イチロー選手も胃潰瘍で開幕試合に出場できませんでした)。でも彼らは、自らの目標に対して絶対に妥協せず、準備を怠らずに最後までコツコツと努力して結果を残してきました。君たちも残り1年、部活動、体育祭等の行事、そして進路実現に向け何事にも妥協せず取り組み、満足のいく形で高校生活を全うしてください。

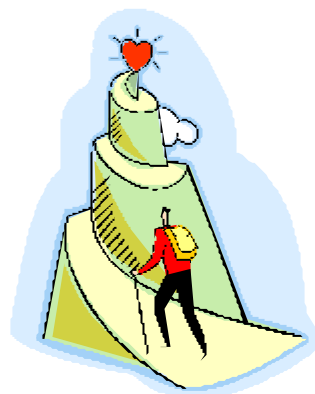
保護者の皆様へ

1. 進路懇談会について

6月～7月に担任と本人・保護者による進路懇談会を予定しています。必ずご出席願います。

2. 卒業証書授与式について

62期生も来春(3月1日予定)には卒業式を迎えます。卒業式並びに式典での服装は、標準服です。全員が笑顔で卒業できることを心から願っております



「学び」の二つの側面について

63期のみなさん、2年生になり1カ月余りが過ぎました。昨年のこの時期に、「学び」とは何か、についてみなさんに話しました。「学び」の目的は真理の探究にあるといいました。その探求心は自己の生や、自己が置かれている世界に疑問を持ち、それがなんであり、なぜそうなるのかを問う本能的な要求を持っているからだ。と指摘しました。「知ること」しかも客観的な根拠のあるものを求めること自体が目的であると考えた態度である。真理はそれ自体のために探求されるものであるとする考え方である。真理を探究しそれを楽しむ、そのことが「学び」の原点であると指摘しました。

このことは、それはそれとして非常に大切なことであるわけですが、しかし人間の認識活動は人間の活動の全てを具現化していないこともまた事実です。したがって純粋な理論的学問の探求のみでは人間の具体的な生活全体を満足させるものではないことも、あわせて自覚しておかなければなりません。すなわち真理の探求は、認識活動を満足させることが出来たとしても、それ自体が人間の営みの全てではないわけです。つまり真理の認識は必然的に人間の他の活動を指導し、実践を促すものでなければならぬのです。「知ことは行ふこと」なのです。人間は知識に基づいて、自覚的主体的に生きる知性的存在でなければなりません。このような観点から「学び」を再考察していくと、知性の営みである「学び」は決して「知ることそれ自体」を目的とするものではなく、「学び」の目的の今一つは人間の現実的生活を豊かにするための実用性にあるといえるのです。このことを的確に指摘しているのが、イギリス経験論の創始者ベーコンです。かれは「知は力なり」と指摘している。すなわち知識は真理であることによって、価値があるのではなく、自然を支配し人間を利する力となるとときに価値があるのだと指摘しています。このような考え方をより鮮明に打ち出したのがアメリカで発展した「プラグマティズム」という考え方で、知識や価値が「人間生活にいかに関与するか」すなわち有用性があるか無しかでその知識の価値が決まるという考え方です。つまり、学問や知識は人間が行動するとき、その行動に役立つものでなければならぬとする立場で、この観点に立つと、詰まるところ「知ことは行ふこと」=「知行合一」ということになるのです。

63期のみなさんは、昨年様々なことを学んで来ました。そのことがみなさんの内なる世界に息づいていますか。人間として生きていく上で「血肉」となり「力」となって、様々な場面で実践されていますか。

教室での学習活動は真理探究の鍛錬です。運動場での学習は肉体と精神の鍛錬です。

人権教育は、人間として生きる喜びを分かち合い、共に人間として生きる学びです。

これらの学びが融合されて、人間として大きく成長していくのです。

今回の投稿では、学びの目的には二つあり、そのいずれのものも一人の人間の中で熟成され創造的知性を兼ね備えることの重要性について訴えました。創造的知性とは「善は善、悪は悪。真は真、偽は偽。正は正、邪は邪」を識別する知性。それを知り学べば、実践できる。実践せねばならぬという実践的知性。

63期のみなさん！「学び」の二つの側面を自己の内なる世界に堅持し、創造的知性を実践的知性に転化させ、日常生活のあらゆる場面で実践して欲しいと念願しています。

再び「日常六心」を贈ります。

ハイという素直な心
スミマセンという反省の心
ワタシがしますという奉仕の心
オカゲサマデという謙虚な心
アリガトウという感謝の心
タシャを受け容れ認める慈愛の心



学校には3つの喜びがある

「学校には3つの喜びがある」といいます。学ぶ喜び、遊ぶ喜び、助け合う喜びの3つです。

学ぶ喜び - 人間は発達する存在です。だから、新たな知識を手に入れたり、新たな技能を身につけたりすることがうれしい。この世界のものごとにはひとつひとつ名前があり、それらがみんな自分とかかわっている…。新たな知識や技能を身につけることは世界がひろがっていくことそのものだから、うれしくて仕方がありません。

遊ぶ喜び - 人間は自然の脅威をひとつひとつ克服しながら、ただ生きるのではなく、よりよく生きることをめざしてきました。たとえそれが腹の足しにならなくても、何の役に立たなくても、一生懸命にやれること自体がうれしい。学ぶことには一定の厳しさがともないますから、なおのこと遊ぶことは楽しいわけです。

助け合う喜び - 人間は力を合わせて人間になってきました。学校では、体育祭や文化祭はもちろんのこと、勉強でも部活動でも遊びでも、協力する機会はいくらでもあります。困ることもあれば悩むこともある。助けてもらうこともあれば助けることもある。そんなことをごく自然に、毎日経験できるのが人間としての喜びです。

とはいえ、勉強すれば順番がつくし、将来の進路にも大きく影響します。「勉強は苦しみではない」「将来のためにがまんして勉強する」ということもあるでしょう。「遊ぶヒマなんてない」「力を合わせるなんてきれいごとだ」という思いもあるかもしれません。

でも、学ぶことが「知識や資格を手に入れる手段だ」というだけなら学校はいりません。書籍やインターネット、塾や予備校で十分です。毎日決められた時間に決められたところにやってきて、まわりと歩調を合わせながら生活する。面倒なこともあればわずらわしいこともあるでしょう。でも、それが学校です。

学校には学校の意味がある。トータルとしての学校生活を大事にしましょう。しっかり学び、思いっきり遊び、みんなで助け合う。夕陽丘の伝統は、トータルとしての学校生活の中でこそ活かされると思うのです。

【教務部】より

「ちょっといいことしてる？」



身近なところから「自分のために」「家族のために」ちょっと範囲を広げて「クラスのために」「クラブのために」「学校のために」もっとグローバルに「地球のために」愛情をかけてますか。

明日から、電車の中は単語帳を見てみよう。弁当箱と晩御飯の後片付けをしてみよう。体育祭ダンスやクラブで3年生と挑む最後の試合がんばろう。シャワーを電気はつけっぱなしにしないで使おう。

ほんの少しの工夫、努力、時間、手間を積み重ねて、人類は少しずつ進歩し変化しています。今流行りの「CHANGE」は一瞬の魔法のように起こりません。千里の道も一歩から。予定を立てて目標に向かい進路を取り、気長に毎日頑張りましょう。

当面の行事予定

5月 1日(金) スポーツテスト	7月 10日(金)～16日(木) 前期第2中間考査
5月 22日(金) 体育祭	7月 17日(金) 全校集会
(雨天時の予備日は23日(土)、24日(日))	7月 23日(木) 1, 2年テスト返却登校日
22日が雨天のときは25日(月)は代休)	7月 21日(火)～24日(金) 3年補充授業
6月 4日(木)～10日(水) 前期第1中間考査	
6月 26日(金)～7月 2日(木) 保護者懇談	

【生徒指導部】より

平成21年度年間目標



新年度が始まりましたが、生徒指導部が掲げる目標は生徒諸君が充実した学校生活を送る上において、基礎になる大切なものです。日々常に意識しながら学校生活を送ってください。

年間目標

・本校生としての誇りと自覚を持つ

夕陽丘の生徒としての義務と責任をしっかりと果たし、長い伝統の上に自分たちも積み重ねてゆくという強い自覚を持って学校生活を送りましょう。

・規則正しい生活をする

社会生活を送る上で時間的な縛りがないところはありません。昨年一年間遅刻がゼロの人が数多く、大変素晴らしいことだと思います。ぜひとも今年も遅刻ゼロにチャレンジしてください。しかしその一方で何度も遅刻指導を受けた生徒もいます。遅刻の多い生徒は、自分が遅刻することで失っている物の大きさについて今一度よく考えてください。

・思いやりのある行動をする

昨年度も悲しいことですが、いじめや嫌がらせなどの行為が起きました。人間は皆それぞれ違って当たり前です。他の人のことを尊重し、違いを認め合い、同じ夕陽丘の仲間としてみんなが気持ちよく学校生活が送れるように互いを思いやりましょう。

・マナーやエチケットを守る

他人に迷惑をかけていることに鈍感になっていませんか？毎日の生活の中で何気なく行動していることが、実は他の人の迷惑になっていることに気がついていないことがよくあります。日常生活のいろいろな場面でマナーやエチケットを守り、正しい状況判断がきちんとできるように訓練するのが高校生の時期です。

・何事にも自ら積極的に取り組む

誰にでも得意、不得意はありますが、高校生の時期はいろいろなことにチャレンジしてください。そうすることで「人間の幅」ができてきます。受身にならず何事にも失敗を恐れず積極的にやりましょう。

携帯電話の使用について

昨年度終了時より集会等で連絡していますが、学校内での携帯電話の使用について下記のようにルールを設けていますのでしっかり守ってください。

『普段からできるだけ使用しない。特に学校生活には不必要であり、使用はできるだけ控える。もし、授業中使用した時は一旦預かり、放課後に指導します。悪質な場合は長期預かり、強い指導を行います。授業以外でも使用すべきでない状況で使用した場合は指導します。』

携帯電話は大変便利なものです。だからこそ持つ人のマナーが問われます。保護者の皆様もこの機会に携帯電話についてご家庭で一度話あってみてください。



【進路指導部】より

2009(平成21)年度入学試験合格情況 (普通科6クラス、音楽科1クラス)

** 国公立大学 **

普通科	現	浪	計	音楽科	現	浪	計
大阪市立大学	2	2	4	東京芸術大学	2		2
大阪教育大学		2	2	京都市立芸術大学		2	2
和歌山大学	1	2	3	愛知県立芸術大学	3		3
奈良県立大学	1	1	2	大阪教育大学	6	3	9
信州大学		1	1	奈良教育大学	1		1
高知大学		1	1				
京都工芸繊維大学		1	1				
京都市立芸術大学		1	1				
計	4	11	15	計	12	5	17

** 主な私立大学 **

	現	浪	計
関西大学	51	24	75
関西学院大学	13	10	23
同志社大学	5	11	16
立命館大学	5	9	14
京都産業大学		4	4
近畿大学	55	28	83
甲南大学	3	1	4
龍谷大学	33	5	38
同志社女子大学	18	5	23
京都女子大学	6		6
武庫川女子大学	10		10
京都外国語大学	4	2	6
関西外国語大学	10	2	12
桃山学院大学	10	2	12
畿央大学	7		7
大阪音楽大学	5		5
大阪芸術大学	5		5
相愛大学	4		4

国公立の大学・短期大学の合格者数は、普通科の浪人は昨年より4名増加しましたが、全体では1名減少しました。現役生には、大阪府内だけではなく、奈良・和歌山・京都など近隣府県の大学を、理系進学者についてはさらに広範囲の大学を進学対象として考えてほしいと思います。

難関私大の関関同立では、浪人の合格者は昨年同数、現役は4名増加しました。また、関西大学が+12、近畿大学が+13と近くの大学に集中する傾向がみられました。

普通科の国公立志向が弱まっています。早い段階から、私立大学一本に絞り、受験勉強を3科目にして負担を軽くしようという安易な姿勢が感じられます。3科目に集中すると受験学力がつくように思いますが、3年生後半の急速に学力が伸びる時期に、かえって伸び悩みになっています。

1・2年生には、学校の全ての科目の授業を大切にし、予習復習を地道にやっておくという当たり前のことが、3年になってからの受験対策の土台になっていることをしてほしいと思います。

** 主な短期大学と専門学校 **

	現	浪	計		現	浪	計
武庫川女子大短大部	11		11	国立大阪医療センター看護学校	1		1
大阪キリスト教短大	2		2	大阪警察病院看護専門学校	1		1
京都女子大短大部	2		2	大阪厚生年金看護専門学校	1		1
大阪音楽大学短大部	2		2				

【保健部】より

Do you know 「あおぞら」?

相談したい人は保健室へどうぞ

2009年度が始まりあっという間に一ヶ月がたとうとしています。心身ともに変わりありませんか?今年の春は気温が急に上昇して、初夏を思わせる日がまだ4月というのに続きましたが、あなたの周囲の環境は大きく変化しましたか?新しい学年・クラス・仲間・教室・勉強・・・など、今までと違う場所にいるような感じがしませんか?



今年も「あおぞら」は健在です。一緒に考え、最後はあなた自身が結論を出してください。
<過去の例から学んだこと>

- ・ 毎年みられますが、「しんどい」とかの体調不良が来室第一声です。保健室という場所にあるからか、「体調不良」という切符がないと入場できないと思っているようです。本当に腹痛や頭痛、吐き気、食欲不振、不眠などの自覚症状があり、ゆっくり話を聞いていくとそんな不調は内科的なものが原因ではないとわかってきます。気持ちが落ち着かなくて誰にも打ち明けられず、眠れない・食べられないほど本人なりに悩んでいる結果と考えられます。「病は気から」ということでしょうか。
- ・ 人の気持ちを考えることの大切さを教えられます。人間関係というのは、衝突するかもしれないけれどお互いに話し合うことで理解を深め、支えあってこそうまくいくものです。学校という集団生活の中で、同じ夕陽丘の生徒という仲間として自分がされたら嫌なことは、誰でも嫌だし、一人ぼっちも辛いのです。

<大切にしたいこと>

* そうなんだ!なるほど・・・

まだまだ完全な大人になりきれていない幼さを感じることのほうが多いのですが、真剣にその子の「想い」に耳を傾けて受け入れることの大切さを実感しています。

* 意外と・・・なんだ!

少しずつ、この「あおぞら」の存在も知られ、保護者の方からの相談というかお話も聞かれるようになってきました。家で見せる表情と学校という外で見せる表情とが違っていたりして、生徒をより深く理解する上でとても参考になります。

* やればできる!

「あおぞら」で話をしたから、今の事態がすぐ改善されるとはならないけれど、自分の悩みや困っていることを人に話せたという勇気は、きっと今後のあなたの自信になっていくと信じて下さい。結果は後からついてくるのです。

「あおぞら」は、生徒一人一人が前を向いて自分の信じる道を歩いていけるよう、陰ながら応援をしていきたいと思っています。

【国際交流委員会】より

64期生のみなさん、入学おめでとうございます。

夕陽丘高校は国際交流を積極的に進めています。毎年さまざまな国の学校が夕陽丘高校を訪れています。又長期、短期の留学生も受け入れています。今年度は隔年実施のニュージーランド英語研修の年に当たります、多くの参加を期待しています。

今年度の予定(平成21年4月現在)

- ・ 7月25日から8月8日 ニュージーランド英語研修旅行
- ・ 11月 四天王寺ワッソ
- ・ 12月 台湾修学旅行



3月下旬からウィーン音楽研修が実施されました。音楽科と普通科あわせて81名が参加しました。

【音楽科だより】

第6回ウィーン音楽研修旅行を実施

3月19日(木)～27日(金)、7泊9日の日程で、ウィーン音楽研修旅行を実施し、音楽科78名、普通科3名、合計81名の生徒が参加しました。

ウィーンでは、著名な音楽家による個人レッスンを受講。ニューイヤークンサートで有名なウィーン楽友協会ホールでは合唱・管弦楽の演奏を披露し、万雷の拍手を浴びました。その他、シュテファン大聖堂でのランチタイムコンサート出演、フォルクスオーパーでのオペラ鑑賞、音楽史跡等の見学など、盛りだくさんの研修内容でした。

また、ウェルス州立音楽学校生との交流演奏会の後、モーツァルトの生地ザルツブルグにも1泊し、数々の歴史ある史跡や、サウンドオブミュージックゆかりのザルツカンマーグートなどを見学しました。

歴史ある西洋音楽のエッセンスを直接肌で感じ、表現する喜びを得た生徒たちは、今後さらに大きく成長してくれるものと確信しています。

今後の行事予定

6月13日(土) 12:00～16:00

第141回ピッコロコンチェルティスタ(学内演奏会)

本校5階ヴィオーラホールで行います。是非お聴きください。



音楽科の第13回定期演奏会は9月27日(日)

NHK大阪ホールでの開催を予定しております。



【今年度の人事異動】

* 転出その他

国語科 木村美穂子(港南造形高校へ)
保体科 渡邊 治夫(退職)
保体科 鈴木しのぶ(退職)
英語科 末永 惣彦(高槻支援学校へ)
英語科 平澤 恵(竹早高校(東京)へ)
英語科 高江洲良昌(天王寺高校へ
兼充指導主事)
技術職 森 健次(退職)
教務補助 大西 慧子(退職)
実習補助 中谷 文美(退職)

* 転入など

国語科 釘田 直久(今宮高校から)
社会科 藤本 一典(八尾翠翔高校から)
数学科 板東 正彦(西成高校から)
保体科 田中しのぶ(住吉高校から)
英語科 永井 秀夫(桃谷高校から)
英語科 太城 充子(かわち野高校から)
英語科 有本 圭希(今宮高校から)
英語科 松本めぐみ(清友高校から)

* 上記以外にも多数の非常勤職員の皆さんにお世話になります。

編集後記



新年度がスタートしました。今年は桜が早く咲きましたが、その後の冷え込みで花が長持ちし入学式まで咲いていました。春は、新しいことをはじめのに最適な季節です。ぜひ、目標を立て、計画的に実行することで、なりたい自分に近づきましょう。

